

荒川下流域を対象としたタイムライン（事前防災行動計画）専門部会  
検討の進め方について（事務局案）

## 1. 専門部会の進め方

- 議論を深めるため地域特性が類似する地域を4つのブロックに分けて検討を行う
- Cブロック（北区、板橋区、足立区）については、試行版の運用を踏まえ必要に応じ見直しを行うとともに、「引き続き検討が必要な防災行動項目（青字）」の検討を行う
- Cブロック以外の市区については、平成28年度末までにそれぞれの試行版をとりまとめることを目標とする
- ブロック毎に必要な応じて地域特性等を踏まえたテーマを設けて議論を行う  
（参考：テーマの例）

### 【3区のこれまで検討したテーマ】

- ・北区：水防及び交通の最適な運行（避難と道路・鉄道交通の関係、堤防切欠き部の水防と交通の関係）
- ・足立区：住民避難（広域避難、地下街からの避難等）
- ・板橋区：要配慮者利用施設の避難

### 【今後考えられるテーマ】

- ・区役所等災害時対応拠点となる施設の機能維持
- ・企業や経済活動の被害軽減
- ・浸水が想定される病院等の避難や病院機能の維持
- ・広域避難（避難先、避難手段、広域避難の誘導と受入体制）
- ・浸水予測（浸水到達時間）を考慮した段階的避難
- ・垂直避難者の発生を踏まえた被害低減のための取組
- ・大規模氾濫が想定される場合の水防団（消防団）、樋門・樋管、排水機場操作員の安全な退避

※広域避難については、江東5区（墨田区、江東区、足立区、葛飾区、江戸川区）広域避難推進協議会で検討予定

- 必要に応じてブロック内にワーキンググループを設け検討を促進する

### ○事務局の役割

- ・荒川下流河川事務所はブロック会議の実施に関する助言や洪水に関する資料の提供などサポートを実施する

## 2. 専門部会等の今後の予定

### ■平成28年度

16市区を対象とした「荒川下流タイムライン（拡大試行版）」とりまとめに向けた検討

○第1回専門部会 平成28年9月6日

- ・専門部会規約（案）について
- ・タイムラインの概念とこれまでの検討経緯等について
- ・今後の専門部会とタイムライン検討の進め方について

○第1回ブロック検討会 平成28年10月予定（時期は協議して設定）

- ・検討の進め方について

※必要に応じてブロック会議等を開催

○第●回ブロック検討会 平成29年3月予定（時期は協議して設定）

- ・ブロック毎または市区毎にタイムライン試行版とりまとめ（または見直し）

### ■平成29年度

16市区対象「荒川下流タイムライン（拡大試行版）」の運用【H29 出水期～】

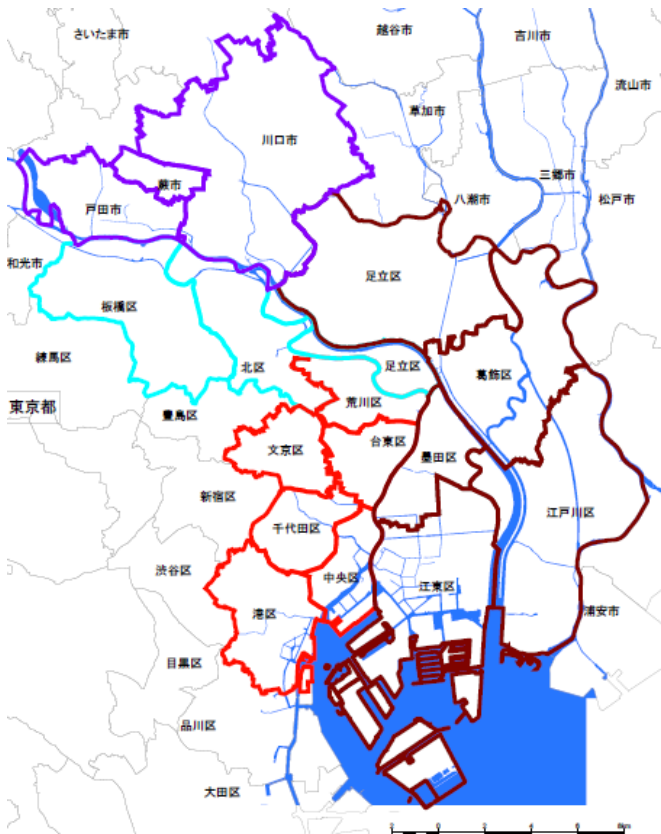
○第2回専門部会 平成29年5月

- ・「荒川下流タイムライン（拡大試行版）」の策定

# 荒川下流タイムライン専門部会 ブロック分け

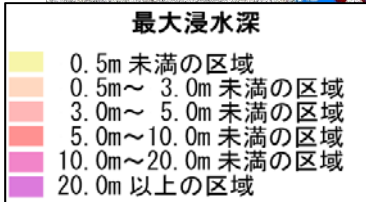
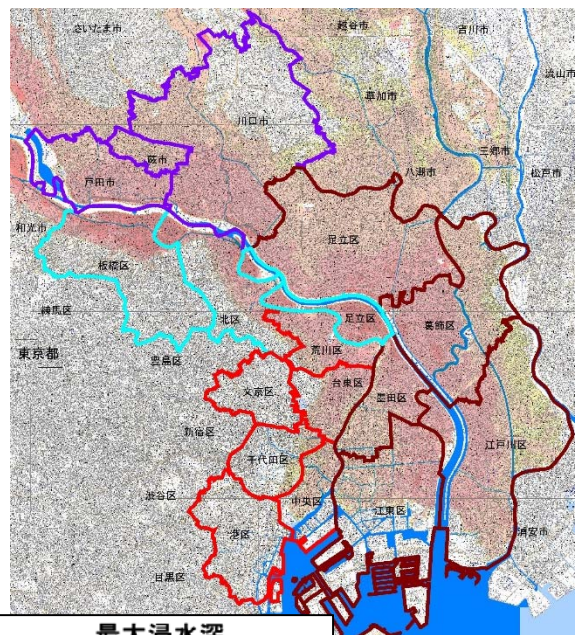
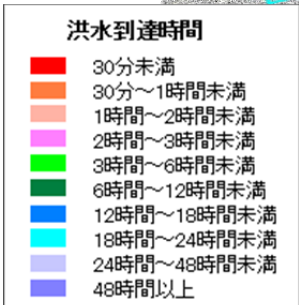
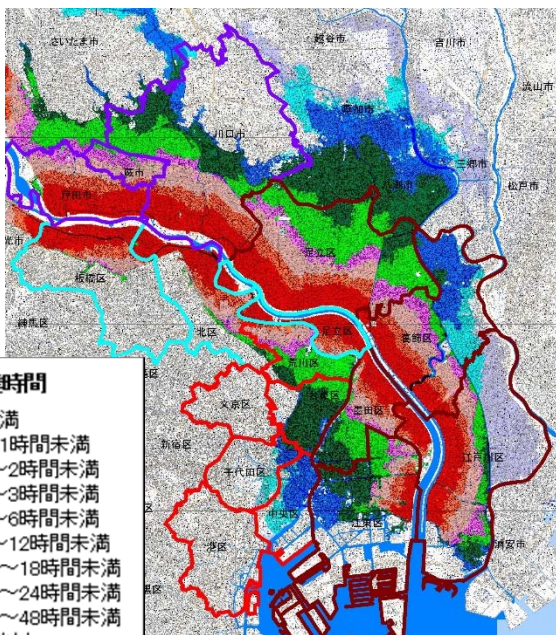
## 開催ブロック設定理由

- A**: 荒川左岸と新芝川右岸に挟まれたエリア
- B**: 江東5区大規模水害対策協議会開催エリア
- C**: 先行して荒川下流タイムラインの検討を実施しているエリア
- D**: 浸水到達時間が遅い地域を含む荒川本川に隣接していないエリア



## 開催単位

- A**: 川口市、蕨市、戸田市
- B**: 足立区(荒川左岸)、葛飾区、江戸川区、墨田区、江東区
- C**: 北区、板橋区、足立区(荒川右岸)
- D**: 千代田区、中央区、港区、文京区、台東区、荒川区



※洪水到達時間は、荒川上流の計算結果及び浸水深 50cm 未満を含んでいない